

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	給付事務事業			会計	款	項目	大事	小事
				02	01	01	04	01
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課			
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	今野 忠光			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市国民健康保険被保険者	意図	流山市国民健康保険被保険者の経済的負担の軽減を図る。
事業内容	適正な療養給付や高額医療費の支給事務を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	高額療養費支給制度は、昭和48年の医療制度改革によって始まった。平成19年4月より入院療養に対して、平成24年4月より外来診療に対して現物給付化（高額療養費限度額適用認定証の交付）された。制度改正により、29年8月から70歳以上75歳未満の方の自己負担限度額が引き上げられた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	高額療養費の支給実績	22,841	23,787	22,833	件	↑↑↑	事業年報高額療養費総件数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 被保険者の高齢化、医療の高度化により、年々高額療養費の支給件数は支給額とともに増加している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		28,615,303	28,413,848	28,685,547				
事業費(b)(円)		14,336,103	14,452,888	14,974,187				
うち一般財源		14,336,103	14,452,888	14,974,187				
職員給与費(c)(円)		14,279,200	13,960,960	13,711,360				
人役・職員(人)		2.08	2.08	2.08				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	増加傾向にある高額療養費支給事務の円滑化を図る。	③取組における課題(Check)	増加傾向にある高額療養費事務処理の円滑化及び効率化を図る必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	高額療養費支給事務について、様式の見直しなどを行い事務の効率化を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	事務改善や効率化などの工夫をし、円滑な事務処理を行う。